

ダンボール製の軽量、簡易組立て型テーブル・いす

M社 (村山)

段ボールを素材にして梱包用以外の製品開発を試みている

1. 相談のきっかけ

従来より梱包用ダンボールの製造販売を行ってきたが、ダンボールを利用した新製品の開発を行い、売上げ増をねらいたいということで実施機関より紹介があった。

2. 課題整理・分析

当初試作品はダンボール製のカラーボックスであった。これは、合板による競合商品も多く、価格競争力も低いので、同時に持ち込みのあったダンボール製のテーブルおよびいすの方が新商品としての魅力が勝ることを指摘し、この試作品の完成度を上げて販売戦略をねることになった。

3. 解決策の提案

この製品のターゲットとしては、野外用としての需要も考えられるが、軽量、簡易組み立てができて収納時にはスペースをとらないなどの特徴があり、緊急災害時の避難所などの備え付け用品として採用される期待もあるので、とりあえず試作品の完成度を高めて、秋の野外催事の機会をとらえてデビューすることを勧めた。



4. 成果

2ヶ月経過後持参の試作品は完成度が向上し、商品として発売可能な状態となった。来年2月開催のホームセンターバイヤー向けにプレゼンテーション、商品名とそのラインアップ、ロゴ、パンフレット等の準備を進めることになった。



組立後

